

一八二二番

はるかすみ 春霞 なが 流るるなへに をあやぎ 青柳の えだ 枝くひ持ちて
うぐひす鳴くも

一八二三番

わがせこ 我が背子を なこし 莫越の山の よめこどり 呼子鳥 きみよ 君呼び返せ
よ 夜のふけぬとに

一八二四番

あさ 朝ゐでに きな 来鳴くかほ鳥 とり 汝だにも なれ 君に恋ふれ
や ときせ 時終へず鳴く